

地域づくり活動 NPO 事業助成（連携重視）事業 実績報告

団体名	はりま桜の名所づくり連絡協議会	代表者名	会長 米谷 啓和
事業名	はりま桜プロジェクト		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2021年 4月 5日	姫路城三の丸広場 ソメイヨシノの開花時に於ける現状・病状調査 参加者：河合浩彦樹木医、和田邦孝樹木医、久保田和男樹木医、三山
7月 1日	姫路城三の丸広場 ソメイヨシノの葉の状態を観て、現状・病状調査 参加者：河合浩彦樹木医、和田邦孝樹木医、久保田和男樹木医、三山
9月	4月に撮影した山桜の画像を基にして佐用郡佐用町の山桜の調査を開始
11月 20日	姫路城三の丸広場 ソメイヨシノの落葉時に於ける現状・病状調査 参加者：河合浩彦樹木医、和田邦孝樹木医、久保田和男樹木医、三山
2022年 2月 2日	佐用郡佐用町内 山桜の社会実験として山主の許可を得て、山桜の周囲の樹木を伐採 山桜が新たに枝を伸ばすことが出来るようにしました。 参加者：3名
2月 27日	神崎郡神河町鍛冶地区 公民館駐車場の周囲のソメイヨシノの古木再生のために強制剪定治療 参加者：17名。鍛冶区民11名、NPO法人兵庫県樹木医会4名、寺前造園株式会社1名、はりま桜の名所づくり連絡協議会1名（事務局三山）
3月 26日	神崎郡神河町役場内・中央公民館グリンデルホール 「第2回はりま桜シンポジウム」 参加者：97名 基調講演：演題「枝と根っこをバッサリ・・・！ 樹木医が語る桜の育て方」 講師：特定非営利活動法人兵庫県樹木医会 理事長・樹木医 河合 浩彦氏 活動の発表： ・「ソメイヨシノの樹勢回復治療に関わって感じたこと」 神河町在住 緑のサポーター 吉岡 一氏 ・はりま桜の名所づくり連絡協議会のこれからの活動について 事務局：三山
3月 28日	現状調査 「桜の育成講習会」の準備 地 域：姫路市手柄山中央公園一帯 参加者：河合浩彦樹木医、和田邦孝樹木医、久保田和男樹木医 内 容：治療を行うソメイヨシノを3本選木

<効果と成果>

今まで3年もの間は課題であった姫路城が持っている「世界遺産」と「国宝」という大きな壁（何をしても文化庁の認可が必要）にぶつかり、前に進むことが出来ませんでした。そしてはりま桜の名所づくり連絡協議会のスタッフ会議を開き、姫路城からフィールドを手柄山中央公園に移して活動することにしました。そこでソメイヨシノの古木再生技術を習得し、参加者と新たな組織を編成し、徐々に姫路城の三の丸広場へと活動範囲を拡大する計画です。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	450,000
自己資金	228,051
合計	678,051

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	謝金	260,000	220,000
	印刷費	263,750	130,000
	会場費	30,800	30,000
	消耗品	63,777	60,000
	小 計	618,327	440,000
間接経費 (一般管理費)		59,724	10,000
合 計		678,051	450,000